

自然休養林情報

びびんこ杉と初対面

脇田武志 (びびんこ杉命名者)

6月20日、待ちに待ったびびんこ杉登山の日だ。「自分たちが名前をつけた木はどんな木だろう。」そんな想いを抱きながら、管理棟前を出発した。元気いっぱいの娘、運動不足の妻、私は、もうすぐ4歳になる息子の手を引きながらの行程となった。出発から約1時間でびびんこ杉に到着した。出会った杉は自分が予想していたよりも大きく、切り株を抱えた根周りは9m、高さは20mある立派なものだった。

これまで縄文杉、万代杉など多くの杉を見てきたが、びびんこ杉との出会いは何か不思議な、そして感慨深い出会いとなった。まだ推定樹齢は約350年だそうだが、この先、何千年も生き続けてほしいと家族で願いたい。そして、今後何回も出会うことになる忘れられない大切な木になると思う。



平成十年度も本地域において、照葉樹林内での植生調査やヤクザル・ヤクシカ等の生態調査のほかに、きのこ・マヒル等の動植物をはじめ、気象調査など様々な調査研究が行われました。

この結果から、地域レベルでの環境研究のみならず地球環境の変化が生態系に及ぼす影響の把握等、地球レベルでの研究フィールドとしても貴重な存在であるといえます。特に、その大半が西部地域に集中しており、この地域が多くの研究者の重要な研究フィールドとなっています。保全センターでは、各種研究機関の協力を得ながら屋久島の自然環境の実態把握に努めるので、入林の際は事前に調査申請を御願います。なお、下半期の学術調査

屋久島は、調査研究の重要なフィールド

◆平成十年度屋久島森林生態系保護地域における学術調査状況◆

森林生態系保護地域には、数多くの貴重な動植物が棲息・生育しており、従来から多くの研究者の生物・生態研究などの重要なフィールドとなっています。また、本地域内のほぼ全域は、世界自然遺産地域と重複しています。

状況は裏面に掲載し、上半期の状況は、本誌第四三号の裏面に掲載していますので御参照下さい。

シヤトルバス乗入の誘いを

◆屋久島自然休養林総会を開催◆

平成十一年度「屋久島自然休養林荒川地区保護管理協議会」総会と「ヤクスギランドを美しくする会」総会が六月九日に開催されました。

協議会総会では、平成十年に保全センターが実施した「苔の橋」の架け替えや、森泉(屋



ガイド協会設立に向けて一歩前進

◆ガイド関係者との意見交換会の開催◆

六月一六日に屋久島観光連絡協議会主催による島内ガイド関係者との意見交換会が関係機関を交えて開催されました。

この会議の趣旨は、観光客との直接の接点を持ち、屋久島の自然や文化の紹介に携わるガイドの役割が年々高まってきていることから、統一した基本理念のもとにガイド組織の結成を図ることです。



会議では、ガイドの資格認

屋久島の植物

ツルアジサイ

(ゆきのした科)



全国の山地に広く分布し、屋久島を分布の南限とする性の低木で、岩や他の樹木をはい上がる。花はイワガラミと同じような場所に同じ時期に咲くが、ツルアジサイは夏に咲く装飾花の、花びらのように見える美しい白いがく片四枚に対しイワガラミは一枚なので区別できる。

久町宮)の公衆トイレのチップ制導入等事業報告がありました。また、平成十一年度の事業計画では、シヤトルバスの導入を来年五月のG・W時に試行的に実施することや、来年

に向けてレンタカー協会を構成員として加入促進すること及び屋久島自然休養林保護管理協議会の一本化について、関係機関と調整しながら検討していくことになりました。

お知らせ

入り込み者自動観測装置の設置

装置の設置

鹿児島大学農学部枚田助教授により、屋久島山岳地域における登山者教等の動向を把握するための基礎データの収集を目的として、屋久島国有林内の三箇所に、入り込み者自動観測装置を設置しましたのでお知らせします。設置期間は来年十二月迄の予定です。

装置の破損等が生じないよう皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

(裏面に装置の写真と設置箇所的位置図を掲載)

屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査の入林状況

(平成10年10月1日～平成11年3月31日)

植物関係

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
植生調査(原生自然環境保全地域調査の継続調査)	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	5, 20, 21	10	
特定植物群落調査	東田隆	(株)新和技術コンサルタント	3, 4, 10, 16, 18, 22, 93, 204	10	
ヤクタネゴヨウの遺伝変異解析のための針葉採取、マツザイチュウによる枯死の確認、個体群動態	齋藤明	九州大学農学部林学科林学第三講座	47, 48, 66	10	
「樹木・木材のデータベース」作成のための写真及び資料標本の収集	山住一郎	大阪府教育センター	53, 75	10	
照葉樹林林床の稚樹の伸長成長の調査	竹中明夫	国立環境研究所	4	10	
フェロジン及び実生の追跡調査等	大沢雅彦	千葉大学理学部生態学研究室	2	10	
屋久杉の形態及び遺伝的研究	佐橋紀男	東邦大学薬学部生物学教室	63, 80～81	10	
環境要因が植物群落に与える影響の調査	中田望	早稲田大学教育学部生物学教室	2い	10	

動物関係

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
野生ヤクシマザルの社会生態学的研究	松原幹	京都大学霊長類研究所	1～4	10	
西部林道地域ヤクシマザルの行動調査	松村秀一	京都大学霊長類研究所	1～4	10	
「ヤクシカのフン」調査	永井真紀子	日本大学森林資源科学科	永田歩道周辺	10	
ヤマヒルの生息調査	山中征夫	東京大学千葉演習林	永田・花山歩道, 大川の滝, 西部林道	10	

その他

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
大気汚染(酸性雨等)の影響調査	古賀実	熊本県立大学生活科学部	3, 228, 230	10	
屋久島地域における大気汚染(酸性雨等)の実態及び影響調査	"	"	4, 221, 228	10	
酸性雨調査	永淵修	福岡県保健環境研究所	2, 3, 221, 228, 230	10	
"	"	"	3, 61, 97	10	

※ 屋久島森林生態系保護地域は平成四年三月に原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資すること目的として設定されました。

なお、屋久島森林生態系保護地域内で調査・研究を実施する場合は国有林野入林許可及び保護林調査許可が必要です。

入り込み者自動観測装置設置箇所位置図



自動観測装置

